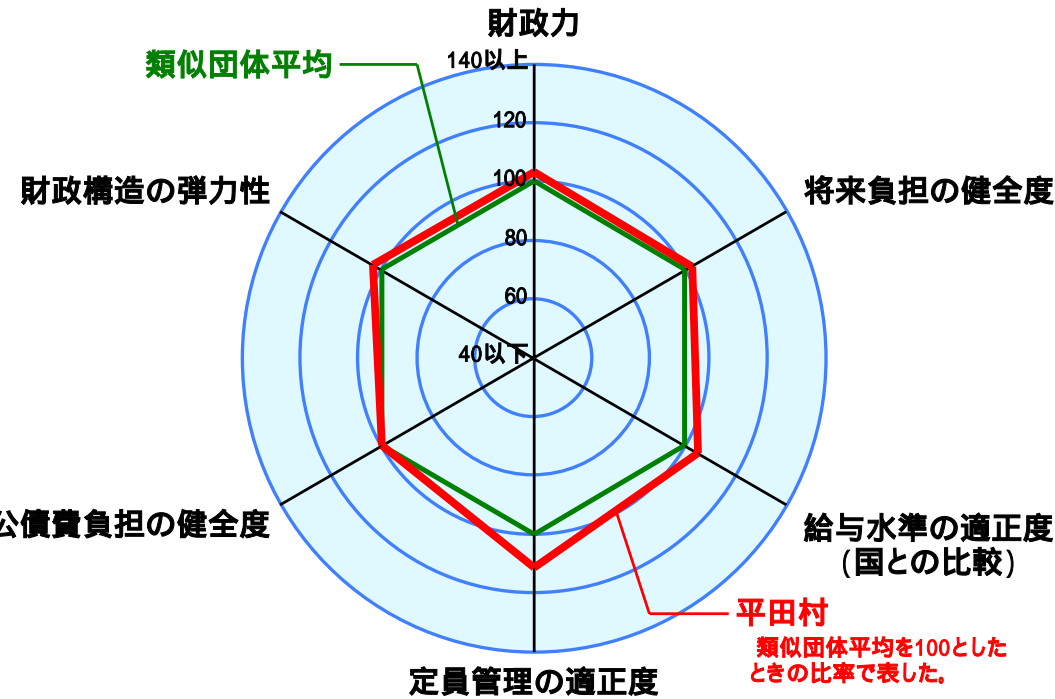
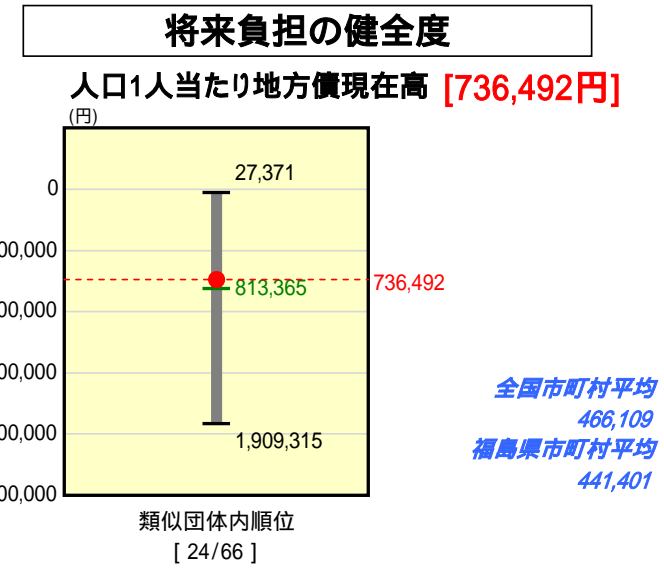
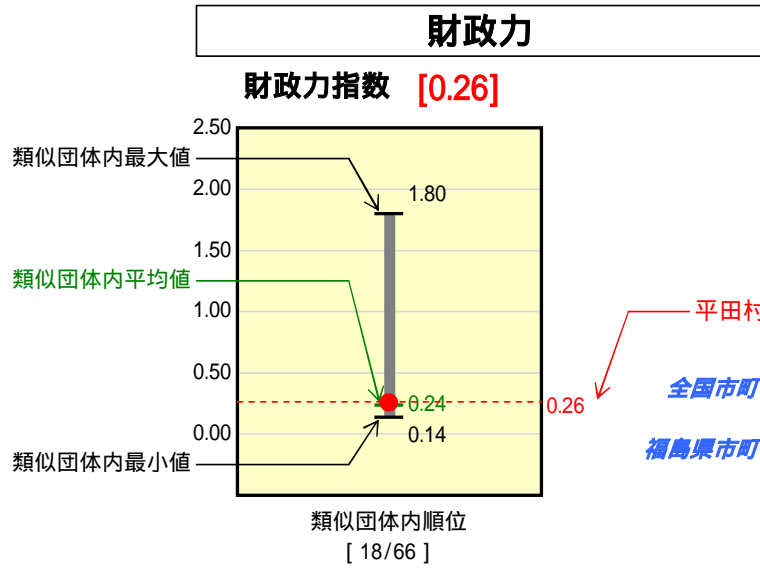


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 福島県 平田村

人口	7,718人(H17.3.31現在)
面積	93.53 km <sup>2</sup>
歳入総額	3,884,846千円
歳出総額	3,779,181千円
実質収支	105,665千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**財政力指数:** 財政力指数は類似団体にほぼ等しいが、自主財源が乏しく、歳入予算の76%を国庫からの交付金に依存している。税収も長引く景気の低迷により伸びない状況にあるため、滞納者対策の強化を実施する。(平成18年度より特別滞納者整理班の設置・収納嘱託員制度等を活用し、対平成17年度比で年間徴収率4%増を目標とする。)また、退職者の補充抑制による人件費の削減(集中改革プラン 平成17年度以降の5年間で9名減146,600千円減額)、事業の見直しによる投資的経費の削減(村独自で策定している「ひらたの財政計画」各課要望事業額から平成18年度以降の5年間で754,945千円減額)を実施する。

**経常収支比率:** 扶助費、公債費の増加により87.2%となっているが、類似団体平均は下回っている。公債費は16年度が一番のピークで、翌年度以降下降する状況にあるが「集中改革プラン」に掲げた退職職員の補充抑制、補助負担金・助成金の整理合理化(平成18年度以降の5年間で50,500千円減額)を更に進める。

**ラスパイレス指数:** 平成14年度の指数から比較すると、退職者の補充抑制等により16年度までに5.1ポイントの減少効果があり類似団体の平均も下回っている。今後も集中改革プランに添った計画(特殊勤務手当の廃止・適正な職員配置、効率的な事務処理による超過勤務手当の抑制等で平成18年度以降の5年間で40,070千円削減)を実施する。

**起債制限比率:** 平成10年度以降実施の道路整備事業債の償還に伴い、現在は類似団体と等しい水準にまで上昇している。今後は投資事業を見直し、比率の上昇を抑制する。(「ひらたの財政計画」各課要望事業の見直しにより、起債借入額を平成18年度以降の5年間で2.8%減 対平成17年度比で152,600千円削減)

**人口1人当たり地方債現在高:** 類似団体は下回っているが、県平均額と比較すると大幅に上回っている。「ひらたの財政計画」に基づき、新規発行債の抑制(平成18年度以降の5年間で27.4%減)に務める。

**人口1,000人当たり職員数:** 平成11年度から16年度まで退職者の補充抑制による削減の結果、8.9%の純減があり、類似団体を下回っている。今後も集中改革プランに基づき、退職職員の補充抑制、民間委託、組織の統廃合の推進等により更なる定員の削減を図る。(平成17年度以降の5年間で職員数9人7.9%削減)

